

4 月末の内々定保有率は前年から 5.7pt 増加し、70.0% 内々定を保有しつつ活動を継続する学生の過半数が「不安を感じる」と回答 理由は「現在の内々定先企業に入社してよいのか(52.8%)」が最多

「マイナビ 2026 年卒 大学生キャリア意向調査 4 月<就職活動・進路決定>」

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:土屋芳明)は、2026 年卒業予定の全国の大学生、大学院生を対象に実施した、「マイナビ 2026 年卒 大学生キャリア意向調査 4 月<就職活動・進路決定>」の結果を発表しました。

TOPICS

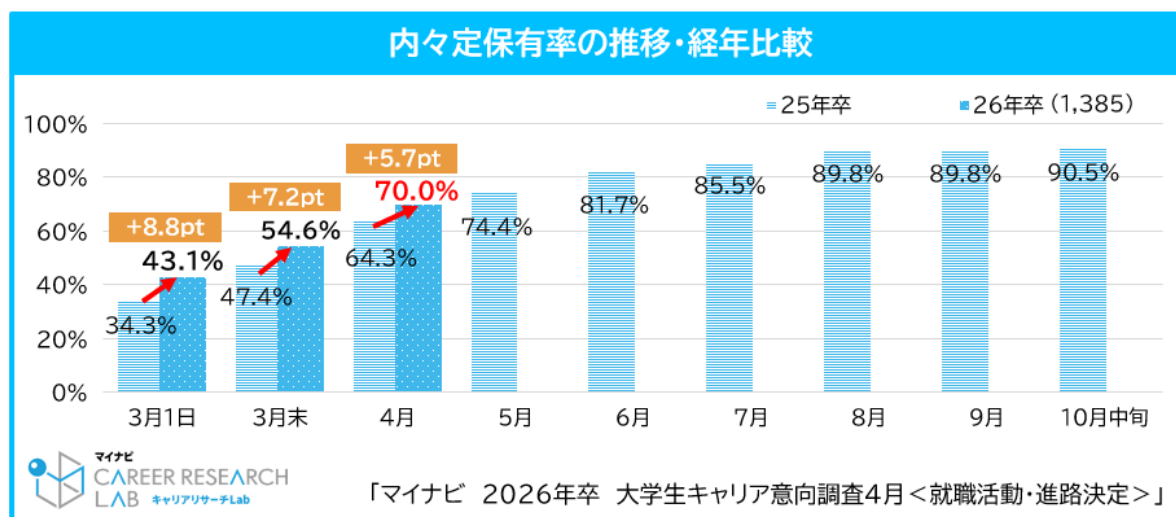
- ◆ 4 月末の内々定保有率は前年から 5.7pt 増加し、70.0%。活動継続率は文系学生が 70.9%、理系学生は 45.9%で 5 割を下回る結果に【図 1、2、3】
- ◆ 文理別の内々定率は文系で 65.1%、理系で 77.9%。理系が文系を 12.8pt 上回る。平均の内々定保有社数は文系で 2.1 社、理系で 2.0 社とほぼ同数【図 4、5】
- ◆ 内々定を保有しつつ活動を継続する学生の過半数が「不安を感じる」と回答。理由は「現在の内々定先企業に入社してよいのか(52.8%)」が最多【図 6、7】
- ◆ 57.4%の学生が、「辞退の意思を伝えていない企業がある」と回答【図 8】

【調査概要】

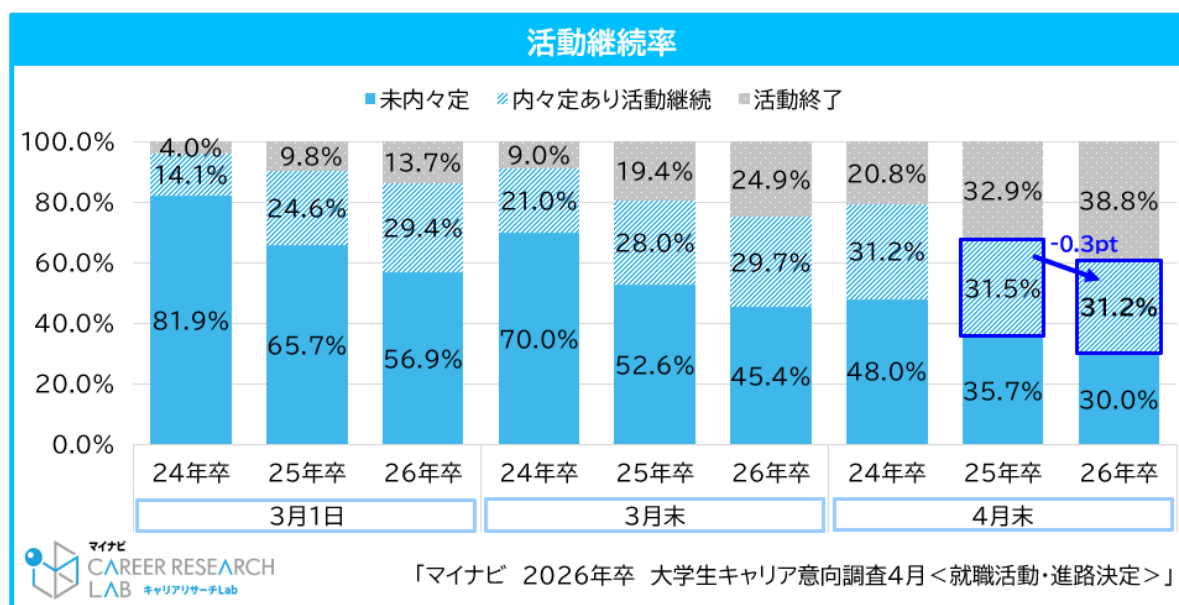
4 月末の内々定保有率は前年から 5.7pt 増加し、70.0%
活動継続率は文系学生が 70.9%、理系学生は 45.9%で 5 割を下回る結果に

4 月末の内々定保有率は前年から 5.7pt 増加し、70.0%となった。前年からの増加幅をみると、3 月 1 日時点で 8.8pt 増、3 月末時点で 7.2pt 増、4 月末時点で 5.7pt 増と、増加幅は徐々に減少している。内々定を持ちながら就職活動を継続する学生の割合は、3 月末の調査までは前年比増となっていたが、4 月末時点では前年同月の 31.5%から微減して 31.2%だった。また、未内々定者と合わせた活動継続の割合は 61.2%(前年比 6.0pt 減)となった。活動継続率を文理別にみると、文系学生で 70.9%、理系学生で 45.9%と理系学生の継続率が低く、5 割を下回った。【図 1、2、3】

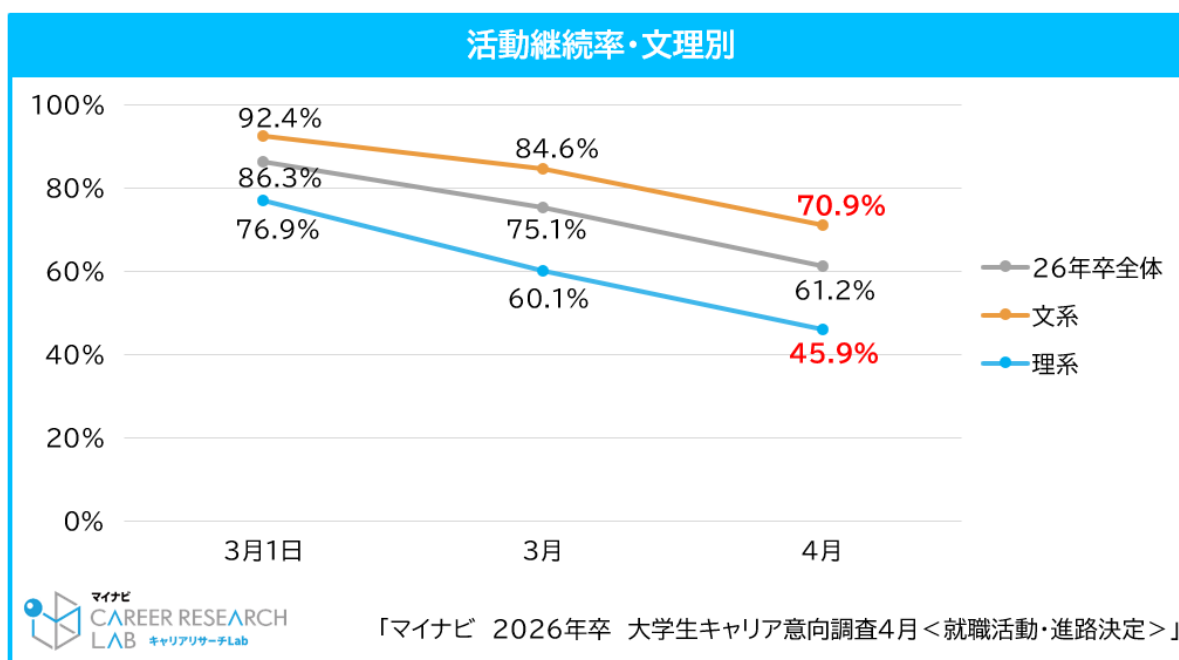
【図 1】



【図 2】



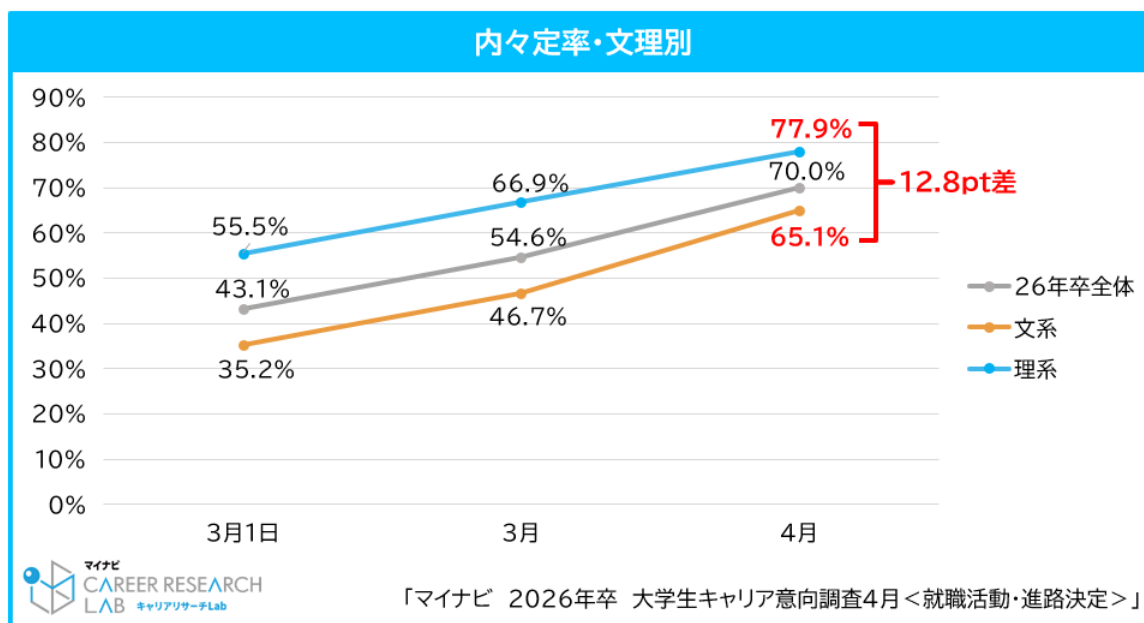
【図 3】



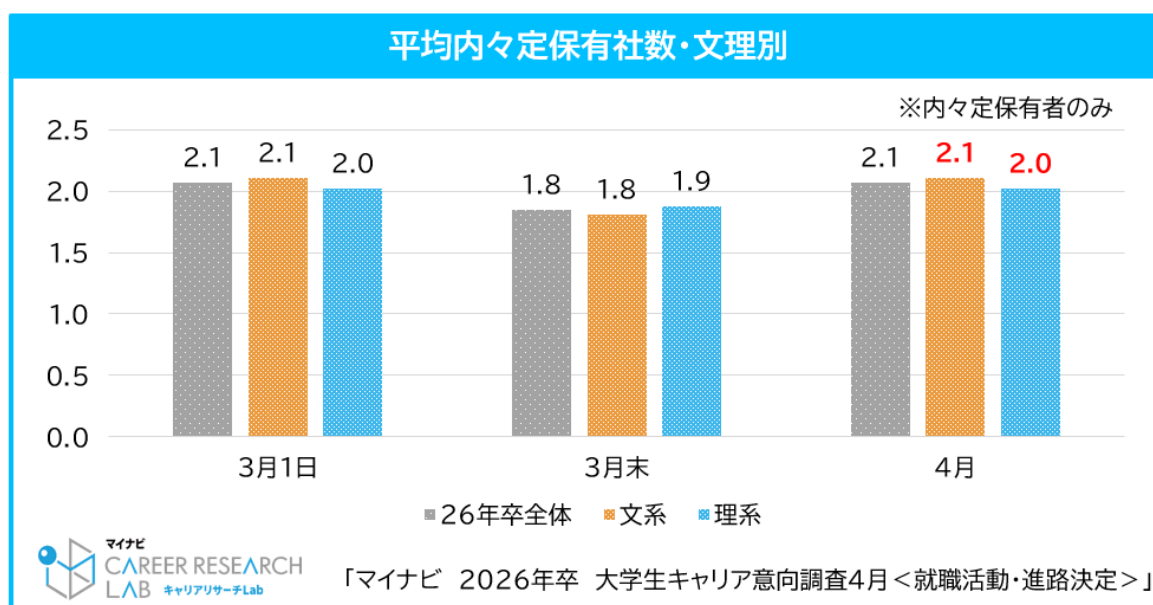
文理別の内々定率は文系で 65.1%、理系で 77.9%。理系が文系を 12.8pt 上回る
平均の内々定保有社数は文系で 2.1 社、理系で 2.0 社とほぼ同数

3 月末調査まで文理間で約 2 割の差が開いていた内々定率は、4 月末調査では縮小したものの、依然として理系学生の方が高い。文系学生は 65.1%、理系学生は 77.9%で、その差は 12.8pt となっている。また、平均の内々定保有社数は全体で 2.1 社と 3 月末調査からは 0.3 社増加した。文理別にみると、文系で平均 2.1 社、理系で平均 2.0 社となり、内々定率は理系学生の方が高いものの、内々定保有社数はほぼ同数となった。専門性が高くジョブ型採用がより進んでいる理系学生は、ある程度選考に進む企業を絞って就職活動をしており、文系学生の方が幅広い企業を視野に入れて就職活動をしていると考えられる。【図 4、5】

【図 4】



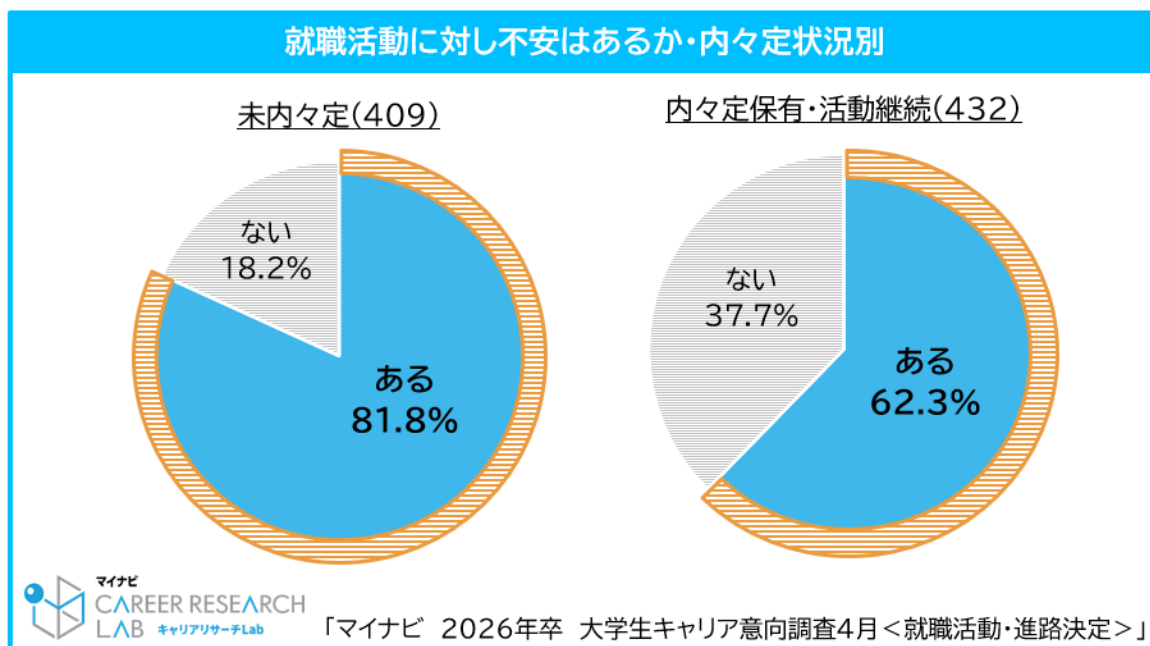
【図 5】



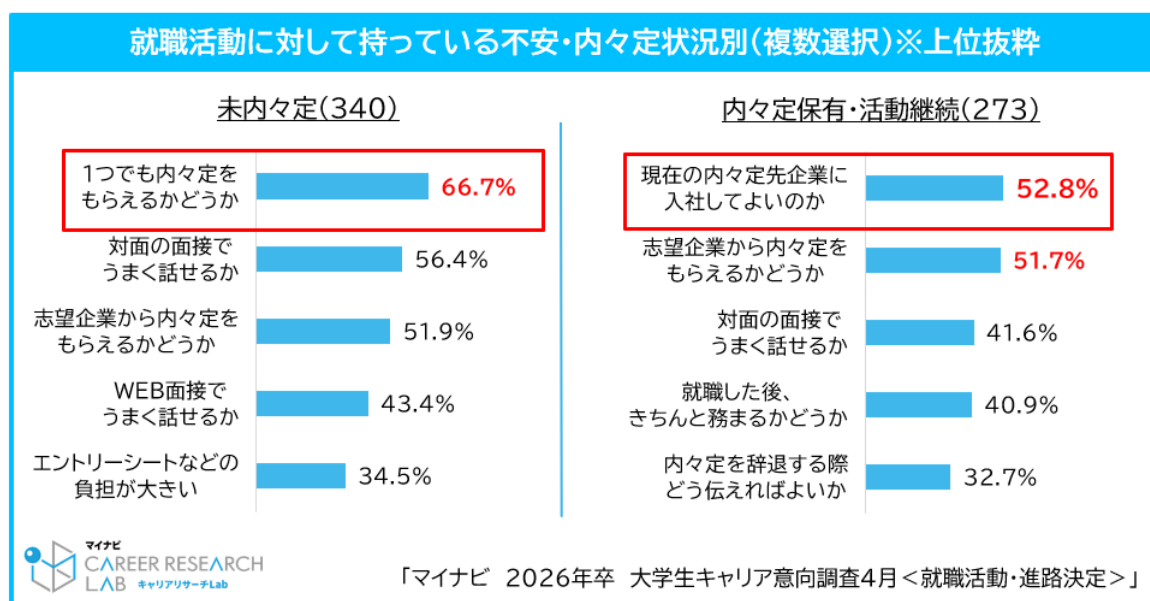
内々定を保有しつつ活動を継続する学生の過半数が「不安を感じる」と回答
理由は「現在の内々定先企業に入社してよいのか(52.8%)」が最多

内々定状況別に就職活動に対し不安があるかを聞くと、未内々定者では 81.8%、内々定を持ちながら活動を継続する学生でも 62.3%と、半数以上が「不安がある」と回答した。具体的に何が不安かをきくと、未内々定者では「1 つでも内々定をもらえるかどうか(66.7%)」が最多。内々定保有者では「現在の内々定先企業に入社してよいのか(52.8%)」が最多で、次いで「志望企業から内々定をもらえるかどうか(51.7%)」となった。内々定を保有していても現在の内々定先に決めかねていたり、より志望度の高い企業の選考を控えていたりという様子が伺える。【図 6、7】

【図 6】



【図 7】

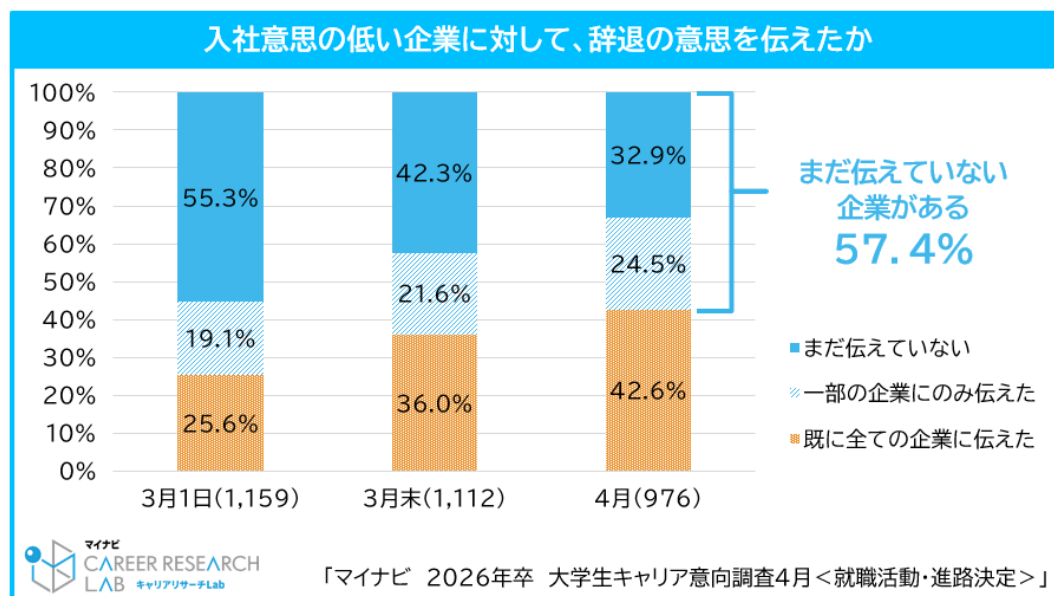


57.4%の学生が、「辞退の意思を伝えていない企業がある」と回答

内々定保有者に入社意志の低い企業に対して辞退の意思を伝えたかを聞くと、「既に全ての企業に伝えた」割合は月ごとに増加しているが、「伝えていない企業がある」(一部の企業にのみ伝えた 24.5% + まだ伝えていない 32.9%) 学生が多数派だった。企業調査※の結果より、25 年卒採用の内々定辞退率が「前年より高かった」と回答した企業は約 3 割と、「前年より少なかった」とする企業の約 2 割より多い。内定辞退率が 3 割を超える企業の割合もコロナ禍以降増加傾向にあり、26 年卒採用で内々定をすでに出している企業においては、今後辞退者の増加が見込まれる。【図 8】

※マイナビ「2025 年卒企業新卒内定状況調査」

【図 8】



【調査担当者コメント】



4月末の内々定率は7割となりました。前年以上に内々定率は高まっていますが、内々定を得ていても就職活動を継続する学生の半数以上が不安を感じており、特に「現在の内々定先企業に入社してよいのか」という回答が多くみられました。就職活動は大きな決断を伴うものですが、自分のキャリアにとって最良の選択をするために、焦らずにじっくりと考えることが重要です。自分のペースで就職活動を続け、納得のいく結果を目指してほしいと感じます。

マイナビキャリアリサーチラボ 主任研究員 井出 翔子

【調査概要】「マイナビ 2026年卒 大学生キャリア意向調査 4月<就職活動・進路決定>」

○調査期間／2025年4月25日(金)～2025年4月30日(水)

○調査方法／マイナビ2026会員(退会者含む)にWEB DMを配信し、インターネットアンケートより回収

○調査対象／2026年3月卒業予定の全国の大学生、大学院生

○調査機関／自社調べ

○有効回答数／1,385名(文系男子230名 文系女子546名 理系男子293名 理系女子316名)

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細はこちら

(https://career-research.mynavi.jp/research/20250515_96454/)からご確認いただけます。

「働く」の明日を考える マイナビキャリアリサーチLab



『マイナビキャリアリサーチLab(ラボ)』は、雇用や労働に関連する様々な調査データやレポートを通じて、雇用の在り方や個人のキャリアを考える上で役立つ情報を提供するサイトです。蓄積してきた調査結果、新たに分析した雇用関連のレポート・コラム、市場データといった情報の提供を行い、組織と個人をつなぎ、社会全体でキャリアの在り方を考える一助を担います。

【お問い合わせ先】 株式会社マイナビ 社長室 広報部 三木 Email:koho@mynavi.jp